



令和4年 7月 26日
第 479号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

強く生きる～「中干し」から学ぶこと～

校長 飯塚 進

先日、ある方から、稲作において行われる「中干し」について教えていただきました。「中干し」は、6月から7月頃に田の水を抜いて、土を乾かす農法です。いろいろな意味が行われるようですが、その中の1つの意味がとても興味深いものでした。

それは、「根を下にしっかり伸ばすため」というものです。田に水がたくさんある時は、稲は自分の根を、土の表面近くで横に伸ばします。しかし、水がなくなってくると、土の表面から乾いていくので、根を下に伸ばすのだそうです。確かに、稲の気持ちになってみると、水が足りなく苦しくなるので、水がまだ残っている下へ下へとがんばって根を伸ばそうと思えます。稲にしてみたら、中干しの期間は、つらいものだと思います。

しかし、結果的には、よいことがたくさんあるのだそうです。根は下の方に伸びているので、少し日照りが続いて、土の表面が高温になっても、根が枯れることはありません。また、強風があっても、根がしっかりしているため、簡単に倒れなくなります。つまり、稲は力強く生きることができるようになるのです。

このことは、私たちが毎日の生活を送るうえで、参考にしたいものです。自分を成長させるためには、困難とまでは言わなくても、やはり努力が必要なのだと思います。壁を乗り越えることは時にはつらいものですが、乗り越えた後の爽快感が、私たちに成長させてくれるのです。自然から学ぶことは本当に多いと思います。

第1回教育懇談会〈学校評議員会、見守る会〉について

7月7日（木）に第1回教育懇談会が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、全員の方から御参集いただけたわけではありませんが、学校評議員の皆様と地域代表（町内会長様、育成協議会様、交通安全協会東豊支部長様）の皆様から御参会いただきました。

御参会いただいた皆様からは、たくさんの御意見や御質問をいただくことができました。学校の教育活動の取組における「あいさつ」「体力作り」「いじめ」「感染対策」「交通安全」「通学路」「カリキュラム」等について、建設的な御意見をたくさんいただきました。今後の教育活動に生かしてまいります。ありがとうございました。

保護者、地域の皆様のお力添えのおかげで、1学期が終了し、子どもたちは明日から、夏休みを迎えることができます。お礼を申し上げます。ありがとうございました。